

議 会 だ よ り

清水町

2007年(平成19年)5月

No. 109

■発行 北海道清水町議会
■編集 清水町議会運営委員会
〒089-0192 上川郡清水町南4条2丁目
☎62-2111・3317 FAX62-5160

第2回定例会

新年度予算基金繰入額 2億8942万円

第2回定例会は3月8日から20日まで開かれ、一般会計以下8会計の新年度予算、条例の一部改正7件、7会計の補正予算、人事案件2件等が提案されました。新年度予算は、議長を除く全議員で構成する「平成19年度予算審査特別委員会(口田邦男委員長)」を設置して審査し、一般会計・国民健康保険特別会計予算は賛成多数で、残りの会計予算は全会一致で可決し、総額11億8780万円、一般会計64億9500万円のうち各種基金から2億8942万円を繰り入れる平成19年度予算が成立しました。その他の議案も原案どおり可決し、一般質問は9人が32項目について行いました。



多くの町民が傍聴した第2回定例会

平成19年度 一般会計予算 論

妻鳥公一議員
予算は町民の暮らしや福祉・教育・安全に視点をあてて編成されなければなりません。しかし、本予算にはそれが表れていません。歳入では、4月から使用料・手数料の負担増、定率減税廃止による増税が含まれ、歳出では、後期高齢者医療制度準備の予算が

森田慎治議員
アイスアリーナが指定管理者制度を取り入れ、フロイデ温泉は平成20年3月で閉鎖し売却との方針を示されたことは、評価したいと思います。

橋本晃明議員
12月の一般質問で、新年度予算の基金取り崩し額は4億円の可能性もあると述べていたが、予算案の基金取り崩し額は2億9000万円、節約できる限界の努力をし、破綻を避けようという意志を感じる事ができます。

最も重要なことは、透明で町民が参加していると実感できるまちづくりで、厳しい財政状況を逆手にとって、住民自治の強化を図り、将来の自立したまちづくりにつなげることを期待しています。

組合込まれ、また、しみず温泉は改善されないまま運営しようとしています。町民は増税や年金の削減、失業や賃金の引き下げなどで不安を抱いており、こんな状況だからこそ、町民を支える政治が求められています。

次回の定例議会は、6月11日に開会予定です。皆さんの傍聴をお待ちしております。